

ROTARY WEEKLY

HIROSHIMA KUKO ROTARY CLUB WEEKLY



広島空港ロータリークラブ週報

会長 松本邦雄 / 副会長 橋濱智美 / 幹事 佐々木正親 / SAA 鶴田秀樹

2016年11月16日発行

事務所 〒729-0417 三原市本郷南 6 丁目 3-26 番地 三原臨空商工会内 2F

TEL 0848-86-0986・FAX 0848-86-0992・E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp・http://hiroshima-kuko-rotary.jp/

例会場 〒729-0416 三原市本郷町善入寺 64-25 広島エアポートホテル TEL 0848-60-8111 FAX 0848-86-9222

NOV 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
 休会 公式訪問 例会 休会 例会

本日のプログラム (11月16日)

国際ロータリー第2710地区
地区大会報告

次回のプログラム (11月30日)

会員3分卓話

第1051回 2016年11月9日 田原ガバナー公式訪問例会

会長幹事会 11:30~12:00 例会 12:30~13:30 フォーラム 13:40~15:10



点 鐘…松本会長

ソング…「君が代」「四つのテスト」

ロータリーの行動規範 唱和

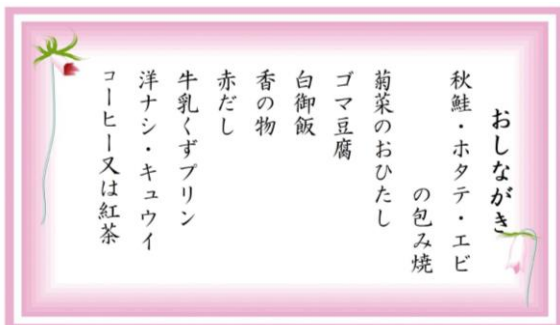
ご 紹 介

ガバナー 田原栄一様 (広島中央 RC)
 ガバナー随員幹事 大坂隆志様 (広島中央 RC)
 ガバナー補佐 安保雅文様 (尾道 RC)
 ガバナー補佐幹事 三谷秀明様 (尾道 RC)

出 席 報 告

	会員数 名誉会員	出席者	メイク	欠席 (免除)	出席率
本 日 (11/9)	26 1	18 1	6	2	92.31
メイク	大下・川本・桐島・重森・乗越・灰谷				
前々回 (10/26)	26 1	24	1	1	96.15
メイク	乗越				

食 事 時 間



会 長 時 間



本日は、田原ガバナーをお招きいたしましての公式訪問例会です。田原ガバナー、大坂ガバナー随員幹事、安保ガバナー補佐、三谷ガバナー補佐幹事におかれましては、ご多忙の中、広島空港ロータリークラブ公式訪問例会にお越しいただきまして、誠にありがとうございます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

先日の地区大会には皆さん沢山のご出席をいただきましてありがとうございました。大会終了後、参加された新入会員の方がロータリーに入会して良かったというお話しもいただきました。1日目の会長幹事会は、垣添先生のご講演は「人はがんとうどう向き合うか？」2日目は小雪さんを交えて4つのテストについて、映画を上映しながらお話しがございました。日頃の何気ない生活の中でロータリーの精神があるという事は、非常に感銘することがありますが、実際皆さんが気付かないこともあるかと思ひます。そのたびに四つのテストを日頃から心にとめて行動していただければ真の奉仕が出来るかと思ひます。

幹 事 報 告

《配 布 物》ロータリーの友・ガバナー月信
週報1049. 1050号
公式訪問プログラム

《回 覧》2017-18 年度ガバナー補佐の任命についてご報告
財団室 NEWS2016 年 11 月号
第 4 回親睦ゴルフコンペ報告
クリスマス家族例会出欠表

卓 話 時 間

国際ロータリー第 2710 地区 ガバナー 田原榮一 様



皆さんこんにちは。2016-17 年度の地区ガバナーを務めます田原榮一でございます。まず最初に、先般行われました地区大会に多数ご参加いただきまして本当にありがとうございました。皆さんにとって心に残る大会になったでしょうか。本年度はロータリー財団 100 周年という記念すべき年にガバナーの責務を考えますと身の引き締まる思いでございます。皆様方のご支援ご協力を宜しくお願い致します。

先ほど会長幹事会で、当クラブの 22 年間のご活躍活動などをお聴きし、大変感動し敬意を表したいと思ひます。またこの度は地区大会で会員増強賞を授与されました事誠にありがとうございます。

私の同期としてガバナー補佐をされました松本会長の地域に根ざしたロータリー活動を積極的に展開されている広島空港 RC を訪問させていただくことは大変光栄でございます。

ガバナー公式訪問の主な目的は、会員の意欲を高め、クラブをサポートすることであります。そこで、先ず、今日の卓話の機会に、2016-17年度RI会長テーマと目標、そして、ガバナー信条と地区運営方針について再度強調しますので、それらをクラブ活動に導入され、「元氣なクラブづくり」に是非反映して頂きたいと存じます。更に、卓話の後に行われますフォーラムにおいて、既にお願ひした議題について協議させて頂きたいと存じます。

RI会長テーマと強調事項・目標

ジョン・ジャーム RI 会長テーマは、「Rotary serving humanity : 人類に奉仕するロータリー」であり、非常にsimpleですが、重みのあるテーマであり、私は感動しました。事実、多くのロータリアンから、「これは、われわれが何をすべきかを示しており、人類への奉仕は、人生の最良の仕事である」と絶賛のメールが寄せられています。

彼は、「人類への奉仕はロータリーの礎であり、ロータリーの一員であることは、最初に小さな機会と思えても、ロータリーを通じて社会に貢献する大きな機会であり、更に、人類へのロータリー奉仕を通じてより良い世界を導く機会です。ロータリーは今、岐路に

たっています。来年度はポリオ撲滅の可能性があり、ロータリーの歴史で最も重要な年を迎えますので、今から準備しておくことが極めて重要です。ポリオ撲滅にロータリーが果たした役割をクラブを通じて地域社会に認知してもらい、ロータリー入会こそ世界を変える方法であることを強調してください。そして、社会貢献への熱意をもつ職業人が集うロータリー独自の力を生かせば、大きな目標を達成することができます。ロータリーの前進には、単にロータリアンの数を増やす事ではなく、将来リーダーとなるロータリアンを増やすことです。「人類に奉仕するロータリー」の伝統を継続する名誉を授けられた私たちは、このような奉仕を行っていく責務があります」と述べています。

ジョン・ジャーム RI 会長は、昨年度と同じく 5 つの強調事項、**会員の増強と維持、財団への寄付、オンラインツールの利用、新世代、公共イメージ**を示しました。これら 5 つの強調事項に、それぞれ目標が掲げられ、それらの組み合わせの達成が会長賞の受賞に繋がります当クラブは、非常に RI 会長賞を多く受賞されてこられました。そこで佐々木幹事さん My rotary に何名登録されていますか？この度の会長賞にはこの My rotary に会員の半数が登録されなければいけません。今後ほとんどの資料が My rotary からでないと情報が入らなくなりますので是非登録していただき会長賞にチャレンジしていただけますように願います。

加えて、彼は、2016-17年度ロータリー目標を示しました。それは、3つの優先事項と11の目標から成り、その内の4つの目標、即ち、「目標4：ロータリー財団に対するロータリアンの知識・参加・寄付を向上、目標5：永久にポリオを撲滅、目標8：財団の補助金と6つの重点分野を通じて、ロータリーの人道的奉仕の質と影響を高める、目標11：「世界でよいこと」を続けてきた財団の100年の歴史における財団の功績、特にポリオプラスの成果に対するイメージと認識を高める」の4つは、ロータリー財団管理委員会が承認した財団の3カ年目標であります。

ガバナー信条・地区運営方針

ジョン・ジャームRI会長テーマを受けて、私は、地区ガバナー信条を、「**Vocational service only brings about happiness and peace**：奉仕の中にこそ幸福(幸せ)と平和がある」としました。ガバナー信条に掲げた「奉仕」は、ロータリーの目的である「職業奉仕」であり、その意図することは二つあります。その一つは、職業奉仕の実践強化であり、もう一つは、人類の最大の敵であるがんの予防推進であります。前者の職業奉仕の実践強化については、21世紀に入り社会生活は目覚ましい進歩を遂げたにも拘らず、道徳観の倒錯による政治、経済、科学等の様々な分野で不

祥事が頻発しており、それを防止するためには、我々ロータリアンは何をなすべきでしょうか。それは、職業奉仕の理念を実践するための二つの行動指針が必要です。即ち、一つは「ロータリアンの行動規範」の遵法、もう一つは「四つのテスト」を言行です。それらは、職業倫理の高揚と人格の向上を惹起させ、究極的に我々に幸福(幸せ)を齎すからであります。ポール・ハリス のいう「奉仕の生活」は「幸福の生活」を意味し、平和に繋がります。

後者のがん予防の推進については、我が国が抱える大きな社会問題、2025年に団塊世代が後期高齢者となり、がん難民の大発生（3人に2人ががんに懸り、がん死亡者3分の2が後期高齢者）について、我々ロータリアンひとり一人が危機感を持ち、ロータリーとして対策を立てる必要があります。

そこで、ロータリー戦略計画の重点分野「疾病予防と治療」に相当する「がん予防の普及推進」を3年間の地区戦略計画として立ち上げ、地区奉仕プロジェクト委員会の中に「がん予防推進委員会」を設置しました。その目的は、ロータリアン自身及び高齢者社会のニーズを満たす奉仕活動「がん予防の普及推進」の実践を通じて、がんになっても安心して働き暮らせるよう、自己責任に基づく健康管理を目指すものです。

その具体的な活動方針には二つあり、一つは、我々ロータリアン一人ひとりが、がん予防を「生活習慣病」として把握し、がんの一次予防（禁煙・生活習慣改善）と二次予防（早期発見・早期治療）によって齎される健康寿命の延長と健康経営、即ち「企業従業員の健全な「心と身体」を戦略的に創り、もって健全な経営を維持すること」の推進です。もう一つは、職業スキルを生かした青少年へのがん教育です。

強調したいことは、がん予防とがん教育は、健康に生きるための地域づくりであり、ロータリアン自身のみならず、家庭、職場、地域社会の人々の命を守り、さらに、ロータリーの将来を担う次世代の人達が健康に生きるために必要なことであります。

将来、国際ロータリー第2710地区が我が国で最もがん罹患率・がん死亡率が低く、早期発見・早期治療によりがんになっても、幸福の生活を過ごせる地区になることを実現しようではありませんか！

ここで、がん予防に関連して、私のロータリーモメントに触れてみたいと思います。

昭和16年、肺結核症で父と私が枕を並べる闘病生活の末、父の死と引き替えに私は生き残りました。残された母と5才の私は親一人子一人で苦難の道を歩み、私は幸にも医学の道に進むことが出来ました。そして、病理学者として、58年間、がん研究一筋に取り組み、得られた研究成果をがん医療に導入して、がんの確定診断である分子病理診断を実践する共に多くの後継者を育成しました。同時に、昭和56年に広島中央ロータ

リークラブに入会して、「四つのテスト」に共感し、広島県の財界、広島大学、医師会等の支援により、平成4年に財団法人広島がんセミナーを設立しました。そして、毎年国際シンポジウムの開催、がん予防のための県民公開講座、若いがん研究者への助成等の事業に取り組んで来たのであります。

このように、今日まで、がんと闘う研究と事業に取り組んでこられたのは、真摯に「がん」と向き合い、自分の生活の基盤となるロータリーの理念を実践した結果であり、もしロータリーに入会していなかったならば、自分の職業スキルを生かした人道的な奉仕活動を継続することが出来なかったと云っても、過言ではありません。まさに、ロータリーに感謝です。

ポール・ハリスの著書「ロータリーの理想と友愛」の中で、「奉仕の理念の意味」の章において、ポール・ハリスが最初に引用したトーマス・カーライルの名言を披露しましょう。即ち、19世紀イギリスの有名な歴史家であるトーマス・カーライルは、「一生懸命誠実にひとつのことを成し遂げとする努力、それはこの世の初めから人間をとりまくあらゆる病や苦悩に対する偉大な療法である」と述べています。

私のガバナー信条「奉仕の中にこそ幸福（幸せ）と平和がある」の原点は、このトーマス・カーライルの名言にあることを披露します。

次に、8つの地区運営方針について説明します。それらは、戦略計画の優先事項と目標を含んでおります。

1) 永久にポリオを撲滅。

ポリオ撲滅まであと少しです。2018年に、ポリオ撲滅宣言の予定です。1985年、「ポリオプラス」を開始以来、発症数は年間35万件から10件以下にまで減少し、「ポリオのないアフリカ」となりました。しかし、パキスタンでは、依然として野生ポリオの感染が続いています。忘れてはならないことは、ポリオプラスの世界における最初の提唱者は、東京麹町RCの故山田・故峰両氏です。従って、我々は誇りを持って、ポリオプラス基金の寄付のみならず、ポリオ撲滅のための募金運動を展開して頂きたいと思っております。

2) 「ロータリアンの行動規範」を遵法

「四つのテスト」と同様に、例会での唱和を推奨します。これは、ロータリアンとしての自己研鑽に繋がり、将来リーダーとなるバイブルです。

ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。

3) 「職業奉仕」の行動指針である「四つのテスト」を職業生活のみならずロータリアン自身の日常生活全てに言行。また、青少年にも「四つのテスト」の実践を促す。「四つのテスト」はロータリーの基本理念の一つであることを留意してください。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

4) 「ロータリー戦略計画」の理解に努め、クラブに戦略計画委員会を設置し、クラブ独自の戦略計画を立ち上げ、クラブレベルで実践しよう。特に、重点分野の奉仕活動に取り組もう。

重要なことは、ロータリーの戦略計画のDNAは、親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップの5つの中核的価値観から構成されていることです。現在、地区クラブの6割が戦略計画委員会を設置していますが、まだ設置されていないクラブは是非戦略計画委員会を立ち上げて、グローバル補助金を利用して効果的なプロジェクトに取り組んで頂きたいと思っております。

5) 会員維持・会員増強について、クラブでの戦略目標を作り、クラブ及びローリアンひとリー人が真摯に取り組む。

毎年会員増強の目標を立て、それを達成して、クラブと地域社会に貢献している実感できる元気なクラブづくりが、会員維持・会員増強の原動力です。

また、入会候補者向けの説明会、例会への招待、懇親会等を開き、ロータリー会員になるメリットを紹介してください。他方、会員維持には、新会員向けの研修セミナーや炉端会議等を開き、ロータリーへの理解を深めてもらいましょう。広島中央ロータリーでは、戦略計画委員会による新会員への研修セミナーを年3-4回開いています。

尚、RI会長は、退職者と若い人の入会を推奨しています。純増2名/クラブをお願いします。

ここで、会員維持に関連して、有名な英国紳士のエドワード・グレイ（第一次世界大戦時に外務大臣）が提唱した「幸福であるための4つの条件」を紹介します。即ち、彼は、第一は、自分の生活の基盤とする思想、第2は、良い家庭と友達、第3は、意義のある仕事、そして、第4は閑を持つことを挙げました。

ロータリアンの皆様には、自分の生活基盤となる思想である「ロータリーの理念」を持ち、良い家庭と友達を持ち、意義のある仕事をお互いに持ち、そして、クラブ同好会で会員相互が楽しく自己研鑽するための閑を持ち、グレイの掲げた4つの幸福の条件を満たしておられると拝察します。是非クラブ同好会を会員維持に利用して頂きたいと存じます。

6) 重点分野の 1 つ「疾病予防と治療」に相当する「がん予防の普及推進」を、職業奉仕「ロータリアンは如何に生きるかという生活姿勢」として把握し、ロータリアン自身のみならず、家庭、職場、学校、地域社会で実践する。

*がん一次予防(禁煙啓発運動・食生活改善)普及推進

*がん二次予防によるがん早期発見(検診受診率の向上)と早期治療

*自分の職業スキルを生かして、青少年に対するがん教育の推進

*ガバナー補佐は、「地区がん予防推進委員会」との連携のコーディネーターとして活躍する。

先般のガバナーエレクトを囲む会において、地区73クラブの8割ががん予防に取り組むこと、全てのIMががん予防に関連したテーマであることを知り、大変心強く感じました。今後、この戦略計画がクラブ、職場、学校で実践され、更に、3年間継続することを強く要望します。ロータリーとがん予防には、「共存共栄」という共通の理念があることを紹介します。

*「ロータリーとかけて、共存共栄と解くーその心は、利己と利他の調和」(2008-09 年度ガバナー 諏訪昭登)

*「がんとかけて、共存共栄と解くーその心は、長い自然史と予防の調和」

(2016-17 年度ガバナー 田原榮一)

がんが臨床的に発見されるまでに、10-20年の長い自然史があり、それには、青少年時代の生活習慣が関与し、生活改善によりがんを予防できること(一次予防)、がんを早期に発見すれば、がんは完治できること(二次予防)、がんの治療により、がんと共存して生活できること(三次予防)です。

尚、田原年度のガバナー月信には、「がん予防」の欄を設けましたので、是非ご高覧ください。

7) ロータリアンの公共イメージと認知度の向上に取り組もう。

その目的は、ロータリアンのブランドイメージを向上させ、ロータリーの中核的価値観と人道的・職業的奉仕というロータリーの強みを、地元レベルと国際レベルで周知を図ることです。ロータリアンのブランドである「ロータリーとは何か」、「ロータリーは何をする団体か」、「なぜロータリーは大切か」をロータリアン自身が充分理解して、公共イメージの向上に取り組んで頂きたいと思います。もう一つは、ロータリー財団100周年をお互いに共有して、ポリオ撲滅運動や財団100周年記念事業の遂行です。IM、RYLA、ローターアクト・インターアクト大会、地区補助金事業、クラブ創立記念事業、ゴルフや野球大会を含む親睦会等に「ロータリー財団100周年記念事業・ポリオ撲滅まであと少し」という冠を付けて下さいます様お願いします。

8) 平和推進地区である第 2710 地区から、「ヒロシマの平和」の理念を発信する共に、久遠の平和 に貢献する「ロータリー平和フェロー」への応募です。

戦後 71 年を過ぎた今日、「ヒロシマの平和」の理念：「戦争のない平和、核兵器のない平和」が風化傾向にあります。「ヒロシマの平和」の理念はロータリーと同じであり、ロータリーを通じて、その理念を世界に発信し、同時に次世代に伝道していく必要があります。それには、先ず、原爆資料館を訪問して頂きたいと存じます。事実、今年 5 月 27 日、オバマ米国大統領が、歴史的な広島訪問を行い、「核なき世界」を将来追求していく必要性を訴えました。それは、ジョン・ジャーム RI 会長のテーマの理念に通じるものであり、我々は、田中作次元 RI 会長のテーマ「ロータリーを通じて平和」を忘れてはなりません。

5月15日の地区研修・協議会において、2016年度規定審議会の主な決定事項を報告しましたが、今後の各クラブの対応については、諏訪昭登地区代表議員による報告(ガバナー月信 2016年6月号)或いは、既に各クラブに配布されている資料に記載されている如く、慎重な対応が望まれ、来年1、2月頃発行される日本語訳手続要覧を見て始動することが肝要かと存じます。

最後に、ロータリー112年の歴史的変遷をみますと、20世紀に確立された“内なる奉仕-職業奉仕”から、21世紀では“外なる奉仕-グローバル化の奉仕”へと変遷していると痛感しております。しかし、ジョン・ジャームRI会長が「人類に奉仕するロータリー」というテーマを掲げ、「人類への奉仕は、ロータリーの礎であり、社会貢献への熱意をもつ職業人が集うロータリー独自の力を生かせば、大きな目標を達成できる」と強調しました。そして、ガバナー信条「奉仕の中にこそ幸福(幸せ)と平和がある」の骨格となる職業奉仕の実践強化とがん予防の推進は「健全な精神は健全な身体に宿る」の理念と本質的に同じであります。

ロータリアンの皆様方々には、RI 会長テーマとガバナー信条を充分に理解・咀嚼され、且つ、ロータリー財団 100 周年という記念する年度をお互いに共有し、クラブの目標に邁進され、見事に達成されんことを切願します。

フォーラム(13:40~15:10)

